

消防団加入促進PRに関する取組について

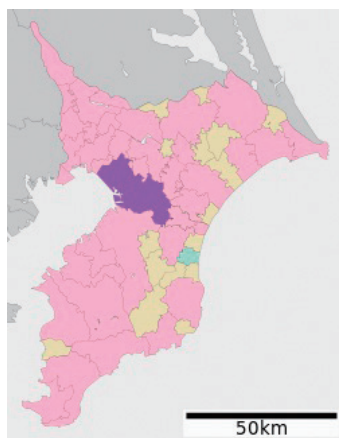
千葉県 千葉市消防団

1 はじめに

千葉市は、中央区・花見川区・稲毛区・若葉区・緑区・美浜区の6区からなり、面積271.76km²、人口は約97万人の県都です。緑豊かな下総台地の平坦地におおわれ、その一部は、東京湾に接しており、温暖な気候と肥沃な土地、豊かな緑と水辺など自然環境に大変恵まれた都市です。

平成4年4月1日に、全国で12番目の政令指定都市としてスタートし、また全国に先がけ業務核都市として指定を受け、首都機能の一翼を担う国際情報都市として、その果たすべき役割は飛躍的に増大しており、各方面から期待されています。

管内図



2 千葉市消防団

昭和22年5月1日、消防団令（昭和22年4月30日公布）を受けて、千葉市消防団設置条例が制定され、従来

の「千葉市警防団」が「千葉市消防団」に改組されたことにより、千葉市消防団が発足しました。

平成4年4月に政令指定都市移行と合わせ、消防団体制検討委員会を設立し、平成8年4月1日をもって1行政区1消防署体制に合わせて、1団6方面隊18分団体制を確立し、現在に至っています。

千葉市の消防団員数は条例定数の840人に対し、774人（平成28年4月1日現在）で、平均年齢は約46歳と上昇傾向にあります。今後少子高齢化により、何らかの対策を取らなければ、更に千葉市消防団の平均年齢が上昇する可能性が高くなることから、長く団員を務めることのできる若年層の加入促進が必要です。

また、千葉市の女性消防団員率は、約23%と全国平均と比較してもかなり高いものの、防火啓発、応急手当普及啓発等には女性の高いコミュニケーション能力と細やかな気遣い等が非常に有用なことから、更に女性団員の募集を行っていきます。

3 ラッピングモノレールを活用した消防団加入促進PR

(1) 目的

消防団員の確保と地域防災力の充実強化を図るため、千葉都市モノレールの車体へラッピング広告として「消防団員募集」、「消防団応援事業所募集」の掲載をしました。市内の飲食店等に消防団の応援事業所として登録してもらい、本市消防団員を対象に、各種サービス等の提供を行っていただくことで、地域全体で消防団を応援する体制を作り、消防団員の加入促進及び福利の増進と地域防災力の充実強化を図ります。



消防団員募集（ラッピングデザイン）



消防団応援事業所（ラッピングデザイン）

(2) ラッピングモノレールで消防団PR

千葉都市モノレールは、懸垂式で世界最長の総営業距離を誇り、市民にも親しまれています。さらに、千葉市内を頻繁に運行していることから認知効果が高く、まずは消防団の存在を知ってもらうことを目的に、ラッピングを施したモノレールを企画しました。2両1編成の車両の片面に消防車などのイラストとともに「がんばれ！千葉市消防団」「消防団応援の店大募集！！」、もう一方に消防庁が入団促進ポスターとしてタイアップしているTVアニメ「サンダーバードARE GO」がデザインされています。



サンダーバードARE GOデザイン



消防団応援事業所募集デザイン

(3) 学生・女性消防団員によるPR活動

ラッピングモノレールの走行に伴い、モノレール千葉みなと駅において、学生・女性消防団員によるPR活動を実施しました。乗降客を対象に、「グッズ」や「ちらし」を配布し、学生・女性消防団員が活動服を着た姿で募集啓発をすることで、若者や女性を含む幅広い層の消防団加入促進に繋がると考えています。



モノレール千葉みなと駅でのPR活動の様子

(4) ラッピングモノレールを使用した消防演習を実施

千葉都市モノレール本社車両基地で、稲毛消防署が秋季消防演習を行いました。モノレール車内からの救出や消防隊の一斉放水訓練などを行い、参加者の防災意識を高めることができました。

また、消防団加入促進を図るメッセージが掲載された「サンダーバード」のラッピング車両を使用し、多くの参加者に消防団員を募集していることがPRできたと思います。



消防演習の様様

4 その他消防団PR

- 千葉のFMラジオ局「ベイFMラジオプレシャスリポート」・「ベイFMモーニンググローリー」取材



ベイFM (ラジオプレシャスリポート)



ベイFM (モーニンググローリー)

- ・日本テレビ「NEWS ZERO」学生消防団取材協力



NEWS ZERO学生消防団取材

- ・消防局市民見学会で女性消防団員による広報活動



女性消防団員による消防団のPR

- ・千葉テレビ開局45周年を記念したイベント「スマイルfestivalちば」に参加



スマイルfestivalちば

5 おわりに

千葉市消防団では、会社員、自営業者、学生、主婦など様々な職種、男女を問わず幅広い年齢層の方々が団員として活躍しています。消防団は地域における防災のリーダーとして必要不可欠であり、今後も消防団を中核とした地域防災力の充実強化のため、積極的に消防団への加入を呼び掛け、地域住民の安全・安心を守ってきたいと思います。



ラッピングモノレールの前で敬礼する消防団員